



ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル ジャパントツアー 2016 in 鈴鹿



高原 守 Mamoru Takahara (音楽監督・指揮)

ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル (NYSE) の音楽監督兼常任指揮者。国立音楽大学卒業後、レナード・バーンスタインのもとで指揮を学ぶため渡米。その後ニューヨークを拠点に指揮者として本格的な活動を始め、1979年にNYSEの前身であるニューヨーク・メトロポリタン室内管弦楽団の音楽監督に就任して以来、指揮者としての活動のみならず、NYSE全体のプロデュース、マネージメントにも携わり、中心的な存在として活躍中。唐招提寺(奈良)、出雲大社(島根)など歴史的建造物で演奏したことは注目され、好評を得た。平成21年度外務大臣表彰を受賞。



鈴木 健史 Takefumi Suzuki (ヴァイオリン)

東京音楽大学卒業後、マンネス音楽院(ニューヨーク)に進み、ディプロマ取得。学部長推薦による全額奨学生としてボストン大学大学院に入学。D. オイストラフの高弟マズルケヴィッチ教授夫妻に師事。ニューヨーク、ボストンにて4回のリサイタル開催。欧米、カナダの音楽祭コンサート出演。これまでに、鷺見健彰、篠崎功子、堀正文、藤原浜雄の各氏、ザルツブルク夏期国際音楽アカデミーに参加の際、ヤープ・シュレーダー、ヤール・クレス、ミュンヘン夏期音楽アカデミーにて、クルト・C・シュティアーに師事。2005年よりニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル (NYSE) 日本公演に参加。2009年より毎年、ソリストとしてニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル (NYSE) の日本公演において協演を重ね、今回で6回目を数える。オフィシャルホームページ <http://violinconcerto.fc2.com/>



的場 凛 Rin Matoba (和太鼓)

三重県鈴鹿市出身。古典を仙堂新太郎氏に師事。2000年、名古屋にて和太鼓プロチーム「打撃人」創設に参加。2002年、レナード衛藤主宰のレオ projectに参加。2003年、和太鼓プロチーム『GONNA』をメンバーと共に創設し、中心メンバーとして全国各地にて演奏。2009年より、三重県を拠点にソロ活動を展開。日本にとどまらず、インド、韓国、アメリカ、タヒチ、オランダなど海外でも演奏活動を広げている。2010年11月、輝く女性「SAVE WOMAN」として、ちふれ化粧品CMに出演。第14回三重県文化賞文化新人賞を受賞。2016年、鈴鹿ときめきカルチャー大使に就任。三重県に根差すことで生まれる感性を大切にしながら活動している。



ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル

New York Symphonic Ensemble (管弦楽)

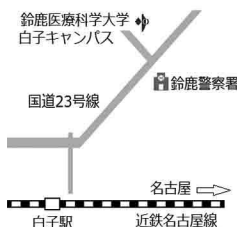
1979年にニューヨーク・メトロポリタン室内管弦楽団として発足後、1983年に現在の名称に改められ、今年で37シーズン目(来日31回目)を迎える。団員はニューヨークを中心に第一線で活躍している演奏家で構成されている。毎年ニューヨークの国連本部で開催されるUNFPA(国連人口基金)表彰式典では、世界中の受賞国の音楽をアレンジした演奏で好評を博している。また、若い演奏家を演奏会に積極的に引き広く紹介しており、その育成に熱心なことでも知られる。

鈴鹿医療科学大学白子キャンパス

〒513-8670 三重県鈴鹿市南玉垣町 3500 番地 3

TEL : 059-340-0550 FAX : 059-368-1271

近鉄名古屋線白子駅より三重交通バス 5分



協賛：八神製作所

